

令和 3 年 度

公益財団法人大田区産業振興協会

事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

令和3年度 公益財団法人大田区産業振興協会 事業報告書

(目 次)

令和3年度 総 括	1
1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業(定款第4条(1)関係)・・・	2
2 区内中小企業の経営支援に関する事業(定款第4条(2)関係)	4
3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業(定款第4条(3)関係)	12
4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業(定款第4条(4)関係)	19
5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業(定款第4条(5)関係)	22
6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業(定款第4条(6)関係)	28
7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他機関等から 受託する事業(定款第4条(7)関係)	30
令和3年度 産業プラザ施設利用状況<別表A>	31
施設利用収入状況<別表B>	32
理事会・評議員会	32
コロナ対策	33
協会組織強化	34
研修	34

令和３年度 総 括

令和３年度の我が国経済は、ほぼ２か年に亘るコロナ禍に対しワクチン接種や新しい日常への転換を進めることで対応力を高めつつも、直近の 令和４年１－３月期の実質ＧＤＰでは令和３年１０－１２月期に対し約▲０.２%が見込まれるなど回復に向けて一進一退の状況にあります。また、世界的な半導体や部品の不足などの供給制約も生産や輸出そして個人消費の足かせとなり、本区の産業への長びく打撃となっています。

一方、緊急事態宣言が全国的に解除された昨年 １０月以降は経済社会活動の水準が段階的に引き上げられる中、観光をはじめ個人消費に上向きの動きが確認できるなど、一部に景気持ち直しの兆しも見えてきたところです。

こうした状況下、（公財）大田区産業振興協会は、区内中小企業のデジタル化を推進するためのプラットフォームとして「OTAデジタル×PiO」の構築とともに新たな取引機会の創出に向けて羽田イノベーションシティ内の「PiO PARK」を昨年１０月に本格稼働させ「蒲田PiO」とともに「３つのPiO」の体制を整えました。

「ベンチャーピッチ in 羽田 2021」は、資金の調達のみならず起業や新事業立ち上げを目指す参加者間の交流を促し、「ユナイト助成事業」では、スタートアップ企業が有する付加価値の高い案件を区内に呼び込むとともに、区内企業の受注増加・販路拡大と技術力向上を図りました。

このほか「おおた商い観光展 2021」は、令和２年度に引き続き、区内全域をパビリオンに見立て紙媒体と Web 上で一か月間開催。「三国志」を題材に「技・娯・食」それぞれの魅力を区民・来訪者の皆様に体感いただきました。

令和４年度は、コロナとの共存に基づく景気持ち直しの動きを確かなものとし、区内経済を持続的な回復軌道に乗せていくことが重要であり、併せて、本年初から急速に感染が拡大しているオミクロン株ＢＡ・２及びＸＥによる第７波への対応にも万全を期しつつ、欧州情勢や世界的な原材料不足、そして急激な円安に対しても備えていかなければなりません。

（公財）大田区産業振興協会は、刻々と変化する環境への対応力を高める支援を切れ目なく実行することはもとより、デジタル化や SDGs 等世界の潮流を的確に捉えつつ積極果敢にチャレンジし続けることで、大田区のすべての「産業者」の応援団として、皆様の期待にこたえてまいります。

1 大田区の産業振興のための情報収集・発信に関する事業 【定款第4条（1）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・協会 Web サイトで「コロナウイルス対策製品を生み出す大田区企業」の情報を更新し先進的な取組事例を紹介した。新型コロナウイルス感染症の拡大に備え、「大田区簡易版 BCP シート」により、緊急事態への対応や事業の優先順位付けなど協会 Web サイトを通じて促した。
- ・奇数月、年6回、「テクノプラザ」を発行し、取引拡大や人材確保等の先行事例、支援事業等、大田区企業に必要な情報をタイムリーに発信し、経営力の向上を図った。
- ・区内産業のプロモーションとして大田区「優工場」認定企業や「大田のお土産 100 選」表彰商品・製品を、ホームページ等を通じて広く周知し、区内企業の優位性や区内商品・製品の魅力を区内外に発信した。

① 大田区産業振興普及事業

【予算額 463,000 円（うち区補助）463,000 円】

【決算額 396,140 円（うち区補助）396,140 円】

（ア）総合事業案内冊子の作成・配布

2,500 部作成、協会窓口等で随時配布

（イ）大田区工業ガイド Web 版の紹介（日本語版・英語版）

（ウ）視察対応

国 内	105 団体	334 人
海 外	10 団体	22 人



【総合事業案内 冊子】

② 大田区ブランド発信事業

【予算額 0 円】

【決算額 0 円】

協会 Web サイトにおいて、区内中小企業等のブランド力維持・向上に資する先進的な取り組みを特集する記事や、協会事業の効果的な活用事例の紹介等を月に一度発信した。

4 月	第 32 回大田区中小企業 新製品・新技術コンクール 受賞企業インタビュー
6 月	～新たな展開～ 若者が活躍する継承とは 大田の工匠 技術・技能継承
8 月	宇宙を支える大田区のスタートアップ企業 ～創業するなら ものづくりのまち～
11 月	コロナ禍での販路拡大に自社 PR 動画を活用！！～他とは違う！大田区産業振興協会の企業 PR 動画制作支援事業とは！～
2 月	特集 新春座談会 未来を見据えた職場づくり ～大田区ものづくり企業・未来への展望～

③ 産業情報誌の発行

【予算額 4,830,000 円（うち区補助）4,830,000 円】

【決算額 3,864,228 円（うち区補助）3,864,228 円】

区内製造業向けに支援策の概要を周知するために
隔月（奇数月）情報誌を発行。

「テクノプラザ」	A4 判 各号 4,400 部
年 6 回発行（5・7・9・11・1・3 月号）	



【テクノプラザ】

④ 産業情報受発信事業

【予算額 4,163,000 円（うち区補助）4,163,000 円】

【決算額 4,025,153 円（うち区補助）3,987,653 円】

（ア）産業情報の収集と提供

・産業関連情報誌の購入:116 冊・寄贈:209 冊・新聞購入:4紙

（イ）区内中小企業の情報発信

・区内中小事業者の紹介動画（大田区「優工場」認定企業、「大田のお土産 100 選」表彰製品・商品（事業者）等）を、ホームページ等を通じて広く周知した。

（ウ）協会ホームページによる情報発信

- ・トップページに大型バナーのスライドショーを設置し、新着情報のアピールを強化
- ・公式ツイッターを開始し機動的な情報発信を強化、一般個人にも対象を拡大。
- ・随時発信 (<http://www.pio-ota.jp/>)
- ・年間アクセス件数:535,762 件
- ・年間閲覧ページ数(PV):1,336,168 件
 - ※年間アクセス件数及び閲覧ページ数は、サブサイト「大田区産業プラザ(貸館予約)」、「大田区ものづくり 研究開発マッチングシステム(mirai)」、「おしごとナビ大田区」の件数を含まない。



【協会ホームページ】

⑤ 調査・研究事業

【予算額 0 円（うち区補助）0 円】

【決算額 0 円（うち区補助）0 円】

2 区内中小企業の経営支援に関する事業

【定款第4条（2）関係】

〔重点取組み事項〕

- ・創業者支援事業では、創業期における様々な課題解決に向け、スキルアップを目指して積極的な取組みを行った。特に、令和2年度にオープンした羽田イノベーションシティ内 HANEDA×PiO において、新たなプログラムを展開し、区内創業者に向けた協会の支援を広く周知することで HANEDA×PiO の認知度向上と創業者支援の拡充に努めた。
- ・「創業相談窓口」
窓口での相談件数は575回、そのうち新型コロナウイルス対策として、オンラインによる面談を75回実施した。継続的な相談や国の特定支援事業を案内するなど、区内創業を促進した。
- ・「ものづくり創業スクール」（創業体験ワークショップ）
ビジネスプランを形にする体験ワークショップを開催、延べ93人参加。
ビジネスアイデアをチームに分かれて磨くことで、参加者にとってはよりリアルな、今後の起業につながる場となった。
- ・「スタートアップ試作支援」（ベンチャーピッチ in 羽田）
創業に必要な知識である、経営や財務に関するセミナーを4回にわたり開催し、区内創業の促進に努めた。創業希望や創業間もない企業・団体から15件の応募があり、ビジネスプランをコーチングによりブラッシュアップした。イベントで開催した「ベンチャーピッチ in 羽田」では実際の投資家に対して8件のピッチを行った。会場では、ビジネス上の質問や指摘があるなど、創業者にとって今後の成長につながる機会を創出できた。
- ・「工場表彰制度」事業は、令和3年度は8社を優工場に認定した。歴代の認定企業がプロジェクトチームを作り、共同受注や若手人材確保について検討を重ねるなど、持続可能な地域産業の発展に資する自主的な活動に繋がっている。また、産業プラザ2F小展示ホールにて「優工場」認定企業による営業職交流会を開催した。製造と営業社員が中心となって活発な意見交換を行い、社員同士も気付きを得るなど新たなコミュニティ形成活動継続を支援した。
- ・「大田の工匠 技術・技能継承」表彰事業では、令和2年度受賞企業に対して産業プラザ2F小展示ホールにて表彰式を開催し、区内外に広くPRすることで、「技術・技能継承」と「若手人材の育成・確保」の重要性を喚起した。令和3年度表彰では、12社12名を選定した。
- ・「大田のお土産100選」表彰事業では、表彰を終えた令和3年度は、表彰事業者の販売機会拡充とPR活動発信に注力した。販売機会の拡充については、羽田イノベーションシティ内店舗での常設販売、区内商業施設フェアへの出展、ギフトショーへの共同出展、勤労者共済コラボ企画、地域スポーツ団体の試合開催時のイベント出展など販売機会の拡大に注力した。PR活動としては、事業者到店頭掲示用としてお土産100選のロゴシールを配布しPRを行った。また、総合版パンフレットの増刷等を実施し、表彰事業者をはじめ、鉄道事業者、区観光課などに配布し区内外に発信した。

① 中小企業情報化支援

【予算額 5,101,000 円（うち区補助）2,791,000 円】

【決算額 4,151,335 円（うち区補助）2,357,235 円】

ホームページ・PRツール作成支援サービス

PiOデザイン工房(毎週火・水・金曜日実施)

利用回数 延べ 235 回 新規利用者数 23 社

② ビジネスサポートサービス

【予算額 20,651,000 円（うち区補助）10,651,000 円】

【決算額 16,738,703 円（うち区補助）9,759,328 円】

（ア）ビジネスサポート相談（専門家派遣）

区内中小企業等が抱える経営、販路開拓、技術や生産性の向上、事業継承などの様々な課題解決のため、専門家（支援協力者）等を派遣するなどして相談事業を実施した。

専門家派遣回数 （内、事業承継案件）	625 回 （6社）	支援協力者 登録数	107 名
特許相談	30 回	対応専門家	4名
大田の工匠派遣 回数	2 回		

（イ）経営サポートセミナー

実 施 日	テーマ等	参加者数	成 果
令和3年9月9日	商業系事業者向け補助金活用セミナー（オンライン） 「補助金・助成金の紹介、書き方について」 講師：プライムパートナー 大野順弘	当日視聴 25 社 後日配信 12 社	満足度 （アンケート） 92.3%
令和3年 11 月 25 日	経営サポートセミナー 「専門家が教えます！事業計画の描き方」 講師：中小企業診断士 納塚 大	15 人	満足度 （アンケート） 78%

（ウ）各種許認可等取得支援助成金

許認可等の種類	助成金交付企業数
・医療機器製造業及び医療機器製造販売業（1件） ・指定管理医療機器製造販売認証（1 件） ・プライバシーマーク（1 件） ・ISO13485（1 件） ・ISO9001 （1件） ・JISQ9001（1件）	5社（6件）

(エ) デジタル社会における知的財産保護・戦略的活用のための大田区中小企業のデジタル実装に係る支援モデル構築事業

- ・国の補助金「中小企業知的財産活動支援事業費補助金」(中小企業知的財産支援事業)を活用した事業
 - ・区内企業の知的財産保護・活用とデジタル化の現況を整理・分析
 - ・デジタル社会に適合した知的財産保護・活用のあり方の検討会の実施(2回)
 - ・デジタル社会における知的財産保護・活用と地域内デジタル化の実装・展開
- (1) デジタル時代における戦略的な知的財産保護・活用ノウハウ&事例集の作成、普及
- (2) デジタルプラットフォーム「OTA デジタル×PiO」構築による、区内企業のデジタル化促進環境の整備

◆ デジタルプラットフォーム「OTA デジタル×PiO」実績

- ・登録者 572 人(令和4年2月末現在)
- ・「OTA デジタル×PiO」関連イベント合計 10 件
(セミナー4件、関連イベントアーカイブ6件)
- ・「OTA デジタル×PiO」内での勉強会(大田区企業×医療・ヘルスケア産業)1件



【OTA デジタル×PiO】

③ 繁盛店創出事業

【予算額 18,534,000 円(うち区補助) 18,534,000 円】

【決算額 32,377,341 円(うち区補助) 32,377,341 円】

(ア) 個店診断・改善費用助成

(a) 小売店、飲食店及びサービス業事業者の抱える課題解決のため、店舗経営の専門家による経営相談及び改善提案を行ったほか、店舗の改装や宣伝広告などに要する改善費用の一部を助成した。

専門家対応件数	うち店舗改善費用助成件数
50 件	22 件

(b) 新型コロナウイルス感染防止対策特別助成枠を設け、各業種によって定められた感染防止のガイドラインを踏まえた店舗の改善費用を助成した。

新型コロナウイルス感染防止特別助成申込件数	うち令和3年度助成件数
211 件	204 件

(イ) 商業版産業情報誌の発行

商店・サービス業事業者向けの情報誌を発行し、商店街を中心に区内の店舗に配布することで、大田区産業の活性化を図った。

「あき now」発行	A4判 年2回(各回 8,000 部)
------------	---------------------



【商業情報誌 あき now】

(ウ) 商い経営事例研究会

実施日	内容	参加者
令和4年3月4日～ 3月25日	区内商業事業者の経営事例の紹介 形式:オンライン配信 講師:あきない活性化コーディネーター 粕谷 智和	28 人

④ 創業者支援事業

【予算額 18,275,000 円 (うち区補助) 18,275,000 円】

【決算額 13,630,658 円 (うち区補助) 13,630,658 円】

(ア) 創業相談窓口の設置

創業相談窓口相談件数	延べ 575 回
------------	----------

(イ) 区内創業を促進するセミナー等の実施

(a) ものづくり創業スクール(創業体験ワークショップ)

実施日	タイトル・講師等	参加者数
令和3年9月11日	「チームづくり・アイデアピッチ」 ウォーミングアップワーク、アイデアピッチ、チームビルディング、 アイデアブラッシュアップワーク、リーンキャンパス作成ワーク 講師:エイチタス株式会社 原 亮 氏	22 人
令和3年9月13日 9月15日	「オンラインコーチング」 メンター陣によるアドバイス(各チーム1時間程度) メンター:エイチタス株式会社 原 亮 氏 SSS 合同会社 小田 恭央 氏 Product Founder & Engineer 増井 雄一郎	22 人
令和3年9月18日	「創業準備」 講義①創業準備と手続き 講義②スタートアップのための資金調達のポイント 講義③経営の出口戦略、ワーク:企業のライフサイクルを描く、 成果発表 講師:エイチタス株式会社 原 亮 氏	19 人
令和3年9月25日	「ピッチイベント」 ピッチ本番、審査員講評、表彰式 講師:エイチタス株式会社 原 亮 氏 審査員:グローバル仙台 篠原 俊也 氏 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 杉原 美智子 氏	30 名

(b) 創業セミナー

実施日	テーマ・講師	参加者数
第1回 令和3年10月6日	「経営計画」 経営計画の意義、ビジネスアイデアとビジネスプラン、 経営計画の構成と活用方法、経営計画の作成 講師:ブレイクポイント株式会社 若山 泰親 氏	17 人

第2回 令和3年 10 月 14 日	「財務」 財務・会計・税務の基礎知識、損益計画・資金計画の作成 方法、資金繰り表作成ワークショップ、資金調達の方法 講師:ブレイクポイント株式会社 若山 泰親 氏	19 人
第3回 令和3年 10 月 20 日	「人材育成」 人材採用・育成・戦力化のフロー作り、労務管理の基礎 知識 講師:社会保険労務士法人JPN 宮武 善樹 氏	17 人
第4回 令和3年 10 月 28 日	「販路開拓」 マーケティングの基礎知識、独自の集客手段の確立、 営業・販売計画の作成 講師:ブレイクポイント株式会社 若山 泰親 氏	18 人

(c) スタートアップ試作支援 (ベンチャーピッチ in 羽田)

概要	
参 加 者 募 集:令和3年9月1日～11 月 15 日 参加者選定会:令和3年 11 月 17 日 ※応募 15 社から8社を選定 全体コーチング:第1回 令和3年 12 月 14 日 第2回 令和3年 12 月 23 日 個別コーチング:令和3年 12 月～令和4年 2 月の 3 か月間、月 2 回を目安に実施 ピッチイベント:令和4年2月 18 日 ※CVC(コーポレートベンチャーキャピタル)などの投資企業に対して ピッチを実施。 投資企業(5社) 東急株式会社、株式会社ニコン、日本航空株式会社、 ヤマトホールディングス株式会社、株式会社 FUNDINNO	
登壇企業・団体名	ビジネスプランタイトル
株式会社 SOXAI	睡眠分析・健康管理用スマートリング
株式会社 SKIDAY	日本の「極上の雪質」を世界に向けて発信する ～アウトドア型観光施設向け、モバイル式ライブカメラシステムの提供～
株式会社 Brain Stream	消防設備点検業務の DX
株式会社 AI	世界最薄水準のカーボンニュートラルな新素材「ネイルコンタクト®」事業
ファシリティジャパン 株式会社	ウェブサイトのアクセシビリティ向上をサポートするソリューション「FACIL'iti」
YELLOW8 株式会社	空港での電動キャンピングカーシェア
ヌデザイン	パラグライダーエンジン及びカスタムバイクパーツ製作
山縣 晶子	羽田空港を拠点に【日本文化体験プラットフォーム】

(ウ) ユナイテッド助成

助成件数 2 社 (申込件数 2 社)	
企業名	事業テーマ
株式会社 OUTSENSE	折り工学を応用したサーフェス形状探索システム「ORIFACE」
株式会社グーテンベルク	FFF/FDM 式高速 3D プリンター試作開発事業

⑤ 工場表彰制度

【予算額 3,658,000 円 (うち区補助) 3,558,000 円】

【決算額 2,613,929 円 (うち区補助) 2,613,929 円】

申込企業	9社
認 定	認定8工場、うち表彰4工場   【優工場 実地調査】 【優工場パンフレット】
	① 総合部門賞:1社 株式会社酒井製作所
	② 人に優しい部門賞:1社 株式会社エース
	③ まちに優しい部門賞:1社 株式会社ハタダ.
	④ 審査員特別賞:1社 株式会社三和産業
	⑤ 認定工場:4社 株式会社極東精機製作所 株式会社熊井製作所 株式会社ニイズマックス 株式会社豊樹脂
累 計	278 社(令和4年3月末現在)
実地調査	令和3年9月1日～3日
審 査 会	令和3年 10 月 18 日
表 彰 式	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
成 果	令和2年度認定5社にアンケートを実施、「満足度 80%」

※優工場認定企業間のネットワーク構築に向け、以下の自立プロジェクト活動を支援した。

●プロジェクト会議(2回)

回	日付	検討内容等
第 21 回	令和3年9月8日	営業職交流会の企画についての意見交換
第 22 回	令和3年 11 月 16 日	営業職員交流会のスケジュール及び役割分担を共有

●「優工場」交流会(1回)

第7回	令和3年 11 月 25 日 17 社 29 名参加	自社の強み・弱み、営業の取組みについての共有
-----	-------------------------------	------------------------

⑥ 商店（飲食店）表彰制度

【予算額 4,551,000 円（うち区補助）4,551,000 円】

【決算額 4,278,832 円（うち区補助）4,278,832 円】

広報活動	① いちおし新メニューキャンペーン 参加 19 店舗 開催期間 令和3年 11 月 14 日～12 月 12 日 メニュー開発をサポートするウェビナーを開催 配信日 令和3年8月2日 講師: 中小企業診断士 高田 泰弘 氏 東急沿線情報誌「SALUS」10 月号への広告掲載によりキャンペーンを周知 ② うえるかむ OTA ウェブサイト開設 MICE 情報発信 WEB サイトとして「宿泊・グルメ・観光」の情報提供を行う(令和 4 年度より区観光課へ移管) ③ その他の広報活動 はねびょん健康ポイント スタンプスポット と して登録(84 店舗)	 【OTA!いちおしグルメ ホームページ】
成 果	コロナウィルス感染拡大の影響で飲食店の売上が大幅に減少する中、新メニューキャンペーンの販促効果は一定程度あった。	

⑦ 大田区優秀技術者表彰事業「大田の工匠 技術・技能継承」

【予算額 2,979,000 円（うち区補助）2,979,000 円】

【決算額 2,724,755 円（うち区補助）2,724,755 円】

令和 2 年度 受賞企業表彰式	 令和3年 10 月 26 日「大田区産業プラザ PiO2F 小展示ホール」にて8社(8組))表彰 【大田の工匠 技術・技能継承 パンフレット】
--------------------	---

令和3年度の募集 及び調査・審査	令和3年8月2日～9月30日 (応募企業数)12社(12組) (実地調査)令和3年10月29日、11月1日、11月12日 計3日間 (審査会)令和4年1月12日、12社(12組)を選定  【大田の工匠 実地調査】
-----------------------------	--

⑧ 大田のお土産 100 選 表彰事業

【予算額 2,922,000 円 (うち区補助) 2,922,000 円】

【決算額 2,555,742 円 (うち区補助) 2,555,742 円】

展示・販売	① 羽田イノベーションシティ丸善雄松堂 Creadisce(クレアディスク)で「大田のお土産 100 選」常設販売 ものづくり事業者 25 社の製品を販売 ② 東急プラザ蒲田「大田のお土産 100 選フェア」出展販売 17 事業者 令和3年9月18日～9月20日 ③ 勤労者共済コラボ企画 参加 12 事業者 会報「ふれあい」令和3年12月号に掲載 ④ B.LEAGE アースフレンズ東京 Z「おいでよ！カマタ Z」納品販売5事業者 令和3年9月17日 ⑤ B.LEAGE アースフレンズ東京 Z「おいでよ！カマタ Z」納品販売8事業者 令和3年12月11日～12日 ⑥ TOKYOイイシナオンライン展示商談会 出展 1 事業者 令和4年1月17日～3月11日  【大田のお土産 100 選 ホームページ】
広報活動	① タリーズコーヒー羽田イノベーションシティ店に「大田のお土産 100 選」の製品・商品を常時紹介 ② 表彰事業者へ計 840 部、東急電鉄へ 400 部、大田区観光課へ 2,000 部 ③ 店頭掲示用の「大田のお土産 100 選」ロゴシールを作成、表彰事業者へ配布
成 果	表彰 84 事業者へ事業評価アンケートを実施(回答率 55%) 満足度成果目標 80%に対し、78%

3 区内中小企業の取引拡大支援に関する事業

【定款第4条（3）関係】

〔重点取組み事項〕

- ・「受・発注商談会」は、年1回（11月）参加企業135社規模（発注企業45社、受注企業90社）で開催。商談会会場では新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、区内中小企業に対し商談案件を334件提供した。また、現場のニーズを直接確認するため区内企業812社を訪問し、取引拡大に向けたサポートを行った。参加者アンケート内容の満足度から確度の高い商談機会を提供出来たことが伺える。
- ・海外取引相談では、英文企業ガイド（冊子）のウェブ版になる英文企業ガイドWeb（PROFILES OF COMPANIES）を新たに作成した。また、海外駐在員等を主要な購読者に持つ海外ビジネス情報に特化したWebページに海外展開を積極的に行う区内企業の取材記事を主体とした広告を掲載した。更に、令和3年度は、海外取引に必要となる安全保障貿易に関するオンラインセミナーや海外情勢を把握するセミナーを開催した。これらの事業を通じ、海外取引を志向する企業の裾野を広げ、企業間連携を深化させた。
- ・商業分野の事業では、「おおた商い・観光展2021」においては、新型コロナウイルス感染症防止対策として三密を避けるため、大田区の街全体を一つの会場と見立て、特設サイトで情報発信し、お客様（区民中心）に直接お店や観光地を訪れていただいた。
- ・区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、検証を行っている。具体的には、データベースに対して、AIを活用した検索結果をレベルアップするため、専門家を交えてシステムの構築、検証を行っている。
- ・羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業では、令和3年10月1日にPiO PARK（ピオパーク）の本格稼働を開始し、PiO PARKの運営を通じて、区内企業の取引拡大等に向けた取り組みを展開した。

① 受・発注相談

【予算額 51,222,000円（うち区補助）50,562,000円】

【決算額 45,640,120円（うち区補助）45,298,020円】

（ア）相談業務（工業）

成立件数・金額	相談件数		巡回件数
106件	受注	発注	コーディネーター：533件 シルバー人材委託：279件
96,222千円	5件	723件	

（イ）発注開拓（工業）

ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による主に区外の大手企業への発注開拓

訪問先	77件
活動成果	成約案件：32件 成約金額：23,735千円

（ウ）商談会

（a）ものづくり受発注商談会

実施日		
令和3年11月29日 第60回ものづくり受発注商談会 in 大田		
参加企業	発注・受注	商談件数



【ものづくり受発注商談会 in 大田】

135 社	45 社・90 社	334 件
-------	-----------	-------

(エ) スマイルカーブ商談会

当商談会は、スマイル商談3ウィークとして1日限りの催事から3週間の期間を設定した個別マッチングとして実施した(オンライン商談会含む)。

名称	開催日・期間	商談先	参加企業数	商談件数
スマイルカーブ商談会 (スマイル商談3ウィーク)	令和4年 3月7日～25日	川上川下企業	17 社	10 件

(オ) 大田ものづくりプラットフォームデータベースの構築

区内中小企業の受発注の機会拡大を目指して、プラットフォームとなるデータベースを構築し、検証を行っている。具体的には、データベースに対して、AIを活用した検索結果をレベルアップするため、専門家を交えてシステムの構築、検証を行っている。

② 海外取引相談事業

【予算額 20,584,000 円 (うち区補助) 20,254,000 円】

【決算額 16,883,833 円 (うち区補助) 16,725,833 円】

(ア) 窓口相談

(a) 相談件数

国別・地域別	件数	国別・地域別	件数
中 国・台 湾	134 件	北 米	87 件
ASEAN	118 件	その他	239 件
欧 州	208 件	合 計	786 件

(b) 国内における外国機関・企業との商談・打合せ件数

相手国	件数	相手国	件数
中 国・台 湾	64 件	北 米	28 件
ASEAN	32 件	その他	12 件
欧 州	64 件	合 計	200 件

(c) 国際取引あっせん

発注案件紹介件数	成約件数	成約金額
55 件	5件	5,435 千円

(イ) 海外市場開拓 (商談会) (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

(ウ) 海外取引セミナー及び海外市場勉強会

実 施 日	テーマ及び講師	参加人数
令和3年5月 24 日	「ドイツセミナー～ドイツ産業の最新動向～」 講師: 日独産業協会駐日代表 吉田 一哉 氏	38 人
令和3年6月 25 日	「アフリカビジネスセミナー」 講師: JETRO 海外調査部中東アフリカ課 課長 佐藤 丈治 氏	27 人
令和3年8月 30 日	「台湾の経済・技術動向と日本中小企業への期待」 講師: 台湾工業技術院駐日代表 楊 馬田 氏	61 人

令和3年 10 月 15 日	「タイの最新経済状況と日本企業の商機」 講師:タイ王国大使館 経済・投資事務所 (BOI 東京事務所) 公使 ガノッポーシ ショーディパーン 氏 参事官 吉井スターズイニー 氏 アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 本部長 チャクリット プンパイサンチャイ 氏 部長 神谷 靖子 氏	28 人
令和4年3月 15 日	「輸出時のルール、安全保障貿易」 講師:安全保障貿易管理促進アドバイザー 荻原 良信 氏	43 人

(欧州市場勉強会 (2 回))

実施日	テーマ及び講師	参加人数
令和3年9月 24 日	「日欧産業協力センターについて」 講師:日欧産業協力センター 三田 氏	12 人
令和3年 12 月 5 日	「バイエルン州について」 講師:バイエルン州駐日事務所 ゲルティンガー代表 田山 氏	11 人

(エ) 外国語文書翻訳・海外企業信用調査

文書翻訳サービス	23 件
海外企業信用調査	10 件

(オ) 広告媒体の利用

(a) 英文企業ガイドの活用

従来の冊子から Web 版として英文企業ガイド Web (PROFILES OF COMPANIES) を新たに作成した (72 社申込)。また、オンライン見本市へ出展時に本ウェブをアピールした。

<https://www.pio-ota.jp/overseas-expansion/company-finder.html>

(b) eコマースの活用

海外駐在員や国際部門の担当者を主要な購読者に持つ海外ビジネス情報専門Webサイト「NNA ASIA」に、協会事業の紹介と区内中小企業2社の海外進出事例を紹介した。

https://www.nna.jp/corp_contents/adplan/2020/200515_nna

③ 大田区加工技術展示商談会

【予算額 14,614,000 円 (うち区補助) 12,854,000 円】

【決算額 14,675,422 円 (うち区補助) 12,915,422 円】

開催日	参加	来場者
令和3年7月3日	100 社	1,527 人
商談件数	取引成立金額	
1,175 件	9,923 千円	

④ 国内見本市への出展支援

【予算額 23,438,000 円 (うち区補助) 18,321,000 円】

【決算額 18,033,491 円 (うち区補助) 15,371,602 円】

(ア) ものづくり産業PR展示会

展示会名、会期及び会場	成果
第 24 回 関西機械要素展 令和3年 10 月 6 日～8 日 インテックス大阪 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、無人ブースにより出展した。	PR のみ

高精度・難加工技術展 2021 令和3年 12 月 1 日～3 日 東京ビッグサイト	相談件数 296 件 成約件数 25 件
第 12 回試作市場 令和4年3月3日～4日 大田区産業プラザ	相談件数 62 件 成約件数 2 件

(イ) 新製品・新技術コンクール受賞企業 褒賞出展 8 社

展示会名	会期及び会場	成 果
ヨコハマハンドメイドマルシェ 2021	令和3年 5 月 8 日～5 月 9 日 パシフィコ横浜	商談件数 5 件 継続案件 0 件 成約件数 2 件 成約金額 未回答
第 25 回自治体総合フェア 2021	令和3年 5 月 12 日～5 月 14 日 パシフィコ横浜	商談件数 1 件 継続案件 1 件 成約件数 0 件 成約金額 0 円
SPORTEC	令和3年 6 月 17 日～19 日 ポートメッセなごや	商談件数 53 件 継続案件 5 件 成約件数 0 件 成約金額 0 円
レンズ設計・製造展	令和3年 6 月 30 日～7 月 2 日 パシフィコ横浜	商談件数 3 件 継続案件 2 件 成約件数 1 件 成約金額 17 千円
アジア血管外科学会	令和3年 10 月 11 日～13 日 オンライン	商談件数 0 件 継続案件 0 件 成約件数 0 件 成約金額 0 円
第 5 回スマート工場EXPO	令和3年 10 月 27 日～29 日 ポートメッセなごや	商談件数 1 件 継続案件 1 件 成約件数 0 件 成約金額 0 円
2022 国際ロボット展	令和4年3月9日～12 日 東京ビッグサイト	商談件数 4 件 継続案件 4 件 成約件数 0 件 成約金額 0 円
国際鉄道模型コンベンション (JAM)	新型コロナウイルス感染症拡大 防止のため中止。	—

※成約件数及び成約金額については 3 月末時点。

⑤ 海外見本市への出展支援

【予算額 10,557,000 円（うち区補助）10,557,000 円】

【決算額 931,260 円（うち区補助） 931,260 円】

(ア) 共同出展（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため出展形態を変更）

展示会名、会期及び会場	出展形式	成 果	参加 企業
MD&M West+(米国・アナハイム) 令和3年 9 月 13 日～10 月 13 日	オンライン出展	商談件数 2 件 継続案件 0 件 成約件数 0 件	協会 単独出展
香港エレクトロニクスフェア(香港) 令和3年 9 月 15 日～19 日	オンライン出展	商談件数 16 件 継続案件 0 件 成約件数 0 件	協会 単独出展
FBC アセアンものづくり商談会 (タイ・ベトナム) 令和3年 11 月 11 日～12 日	オンライン出展	商談件数 20 件 継続案件 1 件 成約件数 1 件	協会 単独出展

⑥ 自主企画展示会（産業フェア）

【予算額 29,850,000 円（うち区補助）25,800,000 円】

【決算額 26,284,120 円（うち区補助）25,347,120 円】

(ア) 「おおた商い・観光展 2021」

あきない三國志プロジェクト ～コロナに打ち克ち天下を制す！～

会 期		参加事業者数	来場者数
令和3年 11 月 14 日～12 月 12 日		196 事業者 (140 社・団体、観光施設・ 銭湯 56 か所)	・公式 HP アクセス数: 38,932 ・Twitter 閲覧数:86,333 ・Instagram 閲覧数:38,666 ・Facebook 閲覧数:32,240 ・QR コード読み取り総数: 2,664 ※QR ラリー応募数 216
概 要	目的・内容	前年度に引き続き、紙媒体及び Web 等による実店舗、観光地の魅力を紹介し、感染拡大防止対策として三密を避けながら、お客様に直接お店や観光地に訪れてもらう期間限定のキャンペーンを実施した。 コロナ禍で経済的に大きな打撃を受けている区内の商店、観光地が、コロナに打ち克ち、街全体を盛り上げていこうとする機運を高めるため、「三國志」をモチーフに採用した。三國志の「魏・呉・蜀」を「技・娯・食」に置き換え、参加店舗・観光地を、技術を要する業種、娯楽に関わる業種、食事または食品に関わる業種に分け、お客様にそれぞれの魅力を楽しんでいただいた。	
	集客拡大を図る工夫	・大田区全域をカバーする MAP チラシを作成 (30,000 部)し、区施設以外に、グランデュオ蒲田3F 東西連絡通路、東急電鉄各駅、JR 蒲田西口広場のお散歩マルシェにて配布。 ・紙媒体に加え、SNSやタペストリー等も活用して参加事業者情報を発信し、区民中心の来場者に直接お店や観光地を訪れてもらう期間限定のキャンペーンを実施。 ・大田区プレミアム付デジタル商品券 利用可能事業者 68 社 ・QR コードラリーで景品が当たる企画	
	セミナー	販売戦略策定セミナー開催 テーマ:Web マーケティングで集客アップ！ 売上に繋がるネット活用方法 講師:岩崎 彰吾 氏 収録日:令和3年9月8日 ※三密を避けるために、収録したものを参加事業者にて web で配信 配信日:令和3年9月 22 日	
連 携	連携	・参加事業者同士の連携 ラーメン自販機プロジェクトをはじめ、『喫茶水木金魚』による「ご近所スタンプラリー」など独自企画を実施 ・大田観光協会のまちあるき企画 大森～羽田スタンプラリー ワタシの OTA おススメ探し～ ・大田区商店街連合会 田園調布エリアの回遊を促す WEB コンテンツを2本制作し、商い・観光展の web サイトにバナーリンク ・大田区観光情報センター 卸・製造業など 13 社が展示・販売。また、ラーメン自販機を設置し、参加事業者3社のコラボラーメンを販売 (242 食)	
		 【おおた商い・観光展 2021】	

(イ) 第 26 回おおた工業フェア

併催企画展「第 1 回 OTA テック・トレードショー」

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインのみの実施)

会 期		参加事業者数	オンライン登録者数
リアル	令和4年2月3日～4日(中止)	93 社(団体)	1,168 名
オンライン	令和3年12月15日～令和4年2月4日		
概 要	区内中小企業の取引促進・販売拡大及び情報交換・情報交流の促進を目的に開催。		
	企画展	第1回 OTA テック・トレードショー ・新たな連携や試みから生まれた大田区発の最終製品を特集。 高付加価値の最終製品を開発・製造し新市場に挑戦する企業を紹介。	
セミナー	基調講演(オンライン)	『自動車における生産革新とものづくりの将来～次の10年に向けて』 講 師:日産自動車株式会社 総合研究所 先端材料・プロセス研究所 エキスパートリーダー 南部 俊和 氏 配信期間:令和4年2月3日 10:00～2月4日 23:59	
	特別講演①(オンライン)	『村田製作所の製造現場におけるIoT化と改善につながるデータ活用事例』 講 師:株式会社村田製作所 IOT 事業推進部 m-FLIP ソリューション企画開発課 シニアマネージャー 郷間 真治 氏 配信期間:令和4年2月3日 10:00～2月4日 23:59 ※アーカイブ配信は令和4年2月7日 13:00～2月28日 13:00	
	特別講演②(オンライン)	『次世代エアモビリティの社会実装とその未来』 講 師:丸紅エアロスペース株式会社 名古屋支店 小野 哲 氏 配信期間:令和4年2月3日 10:00～2月4日 23:59 ※アーカイブ配信は令和4年2月7日 13:00～2月28日 13:00	

⑦ 商い・サービス産業取引相談

【予算額 11,493,000 円 (うち区補助) 10,681,000 円】

【決算額 8,734,771 円 (うち区補助) 7,905,866 円】

(ア) 相談業務(商業)

専門相談員(あさない活性化コーディネーター)による区内商い関連事業者への訪問調査

訪問件数	251 件
------	-------

(イ) 商業展示会の共同出展

展示会名	実施日・会場	参加企業	成果
東京インターナショナル・ギフト・ショー秋 2021	令和3年10月13日～15日 東京ビッグサイト  【東京インターナショナル・ギフト・ショー】	7 社	商談件数：249 件 成約件数：3 件
スーパーマーケット・トレードショー2022	令和4年2月16日～18日 幕張メッセ  【スーパーマーケット・トレードショー】	4 社	商談件数：105 件 成約件数：9 件

(ウ) 商業者向けセミナー

実施日	内容	参加者
令和4年3月 4日～25日	テーマ: テーマ: アフターコロナにおける経営のヒント 形式: オンライン配信 講師: あきない活性化コーディネーター 近藤 光二	28 名

⑧ 羽田イノベーションシティ・サテライトオフィス事業

【予算額 23,539,000 円（うち区補助）22,308,000 円】

【決算額 18,257,154 円（うち区補助）17,327,454 円】

HANEDA×PiO 内の交流空間、「PiO PARK (ピオパーク)」を令和3年10月から本格稼働させた。本空間にてイベント、コワーキング及びショーケーシングの機能を果たすことにより、利用者と区内中小企業との交流による付加価値の創出を図った。活性化に向けて、Eメールやチラシ配布、関係先訪問などプッシュ型の周知を積極的に行ったほか、自主開催のイベントによって利用を促進した。



【ハネダピオ 外観】

(ア) イベント

イベント件数： 66 件

来場者総数：2,293 名



(PiOPARKにおける主催イベント及び誘致イベントの合計)

【協会主催イベント(抜粋)】

【イベントスペースB】

1. 次世代産業創造セミナー「アバターロボット”newme (ニューミー)”の開発」
2. OTA デジタル×PiO キックオフイベント
3. 第107回東京工業大学 技術交流セミナー『エネルギー問題と ESG 経営』
4. 欧州市場勉強会
5. 稼ぐ力を伸ばす・増やす・試みる ～自社の無形資産・知的財産の戦略的活用～
6. 「知財保護と戦略的活用のためのデジタル実装について考える」
7. 海外セミナー「輸出時のルール、安全保障貿易」



【コワーキングスペース】

(イ) コワーキング

内容	利用者数
月額プラン契約件数／利用人数	4 件/18 名
1日フリープラン	1 名
時間利用	29 名
無料体験者数	76 名
ゲスト来訪者数 (ショーケーシング その他)	1, 971 名
視察者数 (海外関係機関視察者 22 名/10 件含む)	282 名
総来訪者数 (イベントの来訪者 2, 293 名含む)	4, 670 名

(ウ) ショーケーシング

PiO PARK 内で、コリドーに面して外部からの視認性の高いエリア(約 200 m²)をショーケーシングエリアと位置づけ、大田区企業の技術力等の発信のため以下の企画展示を実施した。

- ・「パラスポーツを支えた大田区の技」(令和3年10月1日～令和4年1月末)
- ・「Tokyo 技能五輪・アビリンピック 2021 ギャラリー」(令和4年1月中旬～1月末)
- ・「OTA! FOUNDERS' PRODUCTS ～区内創業者による製品展示～」(令和4年2月1日～3月末)

4 区内中小企業の人材の育成・確保の支援に関する事業

【定款第4条(4)関係】

- ・おしごとナビ大田区では、ユーザーの視点を重視したサイト作りを進め、求職者の利用を促進するとともに、求人企業の採用活動を後押しした。
- ・コロナ禍においても、若手人材を採用しようとする区内中小企業のニーズに応えるため、大学との連携により、オンライン合同企業説明会を開催した。参加企業全社の説明を受けられる方式で実施するとともに、グループ面接会でさらに理解を深める機会を設けるなど、運営の工夫を図り、3名内定の成果が出ている。
- ・内職相談では、オンラインによる申込みや関連情報のデータベース化など、デジタル化を進るとともに、求職者に対し、求人企業のニーズを意識したきめ細かいヒアリングを実施し、コロナ禍であっても、あっせん人数、あっせん率及び、採用人数、採用率は従前レベルを上回ることができた。また、付加価値があり単価の高い内職作業を発注する企業について、重点的に受注開拓を行うなど、受注額の確保に取り組んだ。

① おしごとナビ大田区

【予算額 2,153,000 円（うち区補助） 312,000 円】

【決算額 1,211,448 円（うち区補助）△562,896 円】

（ア）求人情報サイト「おしごとナビ大田区」の管理運営

	掲載社数・更新数等
求人広告掲載企業	123 社
新規登録企業件数	27 件

（イ）民間広告媒体を活用したPRの実施

民間企業広告 活用件数	内 容
1 件	ドアガラス面ステッカー掲出(京急線一部車両)

② 中小企業次世代ものづくり人材の育成事業

【予算額 1,001,000 円（うち区補助）901,000 円】

【決算額 778,928 円（うち区補助）758,928 円】

（ア）都立産業技術高等専門学校との連携

都立産業技術高等専門学校(高専)の教授陣と施設を活用し、中小企業の若手技術者育成を目的として実施した。基礎講座は通学型の講座として品川区と共同で実施。出前講座は大田区企業への出張型講座として実施した。

講座科目別実績

		科 目	単位 2 時間/1 回	開催期間	受講者数 (大田区在勤)
基 礎 講 座 (大田区・品川区)	機 械	機械設計のための基礎	15 回	令和3年9 月 1 日 ～ 10 月 15 日	9(6) 人
		工業材料の基礎	5回	令和3年10 月 19 日 ～ 10 月 29 日	8(7) 人
		材料加工の基礎	6回	令和3年11 月4日 ～ 11 月 22 日	6(6) 人
		デジタルマニファクチャリング体験講座	6回	令和3年11 月 24 日 ～12 月8日	5(2) 人
	電 気	電気回路の基礎	8回	令和3年10 月 1 日 ～ 10 月 27 日	6(1) 人
		シーケンス制御の基礎	10 回	令和3年10 月 28 日 ～ 12 月 2 日	2(2) 人
出前講座 (大田区)	基礎機械製図 (多賀電機株式会社)		2回	令和3年8月 18 日 ～ 8月 23 日	5人

(イ) おおた少年少女発明クラブの支援

小中学生を対象としたものづくり教室の開催・運営を行うおおた少年少女発明クラブ
(事務局:NPO 法人大田教育支援の会)に対し助成を行った。

内容	詳細	活動日数	参加人数
定期活動	期間:令和3年4月～令和4年3月(毎月1～2回) 場所:大田区池上会館(科学室) ・「ホバークラフト」製作及び競技会 ・「プチロボ」製作 ・「電気回路基礎」(LED、スイッチの取り付け) ・「ピカピカツリー」製作及び発表会 ・「キュートロボ」製作及び発表会	13日	24人
臨時活動	・大田区少年少女チャレンジ創造コンテスト大会 令和3年10月23日 ・ものづくり教育・学習フォーラム令和4年1月15日 ・こらぼ de アート作品展示 令和4年2月19～20日	4日	—

③ 若者と中小企業とのマッチング事業

【予算額 2,006,000円(うち区補助)2,006,000円】

【決算額 1,784,690円(うち区補助)1,784,690円】



(ア) オンライン合同企業説明会の開催

【オンライン合同企業説明会】

大学などの教育機関と連携し、オンライン上で合同企業説明会を開催し、若手求職者の就職活動の支援及び区内中小企業の人材確保の支援を行った。

実施日	内容	参加 企業数	参加 大学	参加者	選考 ※	成果
令和3年10月13日	説明会を各社2回実施し、学生は3社程度の企業説明会に参加。	9社	5大学	25名	9名	0名
令和4年2月16日	説明会を各社4回実施。学生は、4グループで、ローテーションにより全企業の説明会に参加し、その後、グループ面接会に参加。	8社	9大学	36名 (グループ 面接は、16 名参加)	8名	3名 (内定)

※選考は、本合同企業説明会後に、個別に企業で実施。

④ 内職あっせん・相談事業

【予算額 3,357,000 円（うち区補助）3,357,000 円】

【決算額 3,269,994 円（うち区補助）3,269,994 円】

（ア）あっせん相談

（a）あっせん・相談状況

求職状況	求 人 状 況	あっせん 状 況	採用 状況	問合せ 状 況
登録人数	事 業 所 数 人 数	事業 所数 人数	人数	件数
425	168 264	265 308	219	1,554

（b）出張相談状況 2 回開催

（イ）求人開拓

求人企業への企業訪問	25 社
------------	------

（ウ）普及啓発用印刷物の作成

項 目	内 容	回数等
内職求人開拓用 印刷物の作成・配布	蒲田・大森・雪谷法人会会報封入	約 6,000 枚
	大森青色申告会会報封入	約 2,500 枚
	区内製造業 558 社投函	1 回
内職求職者用 印刷物の作成・配布	区内図書館(17 か所)・特別出張所(16 か所)・地域庁舎 地域健康課(4 か所)にチラシ設置及びポスター掲示 年 2 回	約 2,500 枚
	大田区子育て支援課(区内児童館 57 か所を含む)・保育サービス課にチラシ設置 年 2 回	約 3,000 枚
	ハローワーク大森 マザーズコーナーにチラシ設置	約 400 枚
	大田文化の森・子ども家庭支援センター(キッズな 4 か所)にチラシ設置	約 200 枚
	大田区シルバー人材センター・大田区いきいき仕事ステーション・大田区生活再建就労サポートセンターJOBOTA にチラシ設置	約 500 枚

5 区内中小企業の技術開発支援に関する事業

【定款第 4 条（5）関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成では、採択テーマがロボット・医療・福祉など多岐にわたり、開発内容はより高度化している。採択企業は、コロナ禍の影響はあったものの、概ね計画通りに開発を進めることができた。本事業を通じて、次世代産業分野を見据えた新製品・新技術開発の促進につながった。
- ・新製品・新技術コンクールでは、有望なアイデア 9 件を輩出した。最優秀賞は「搬送用 AMR:Mighty-D3」である。自律走行可能な 4 輪式搬送機で制御性が高く、15cm の段差を突破し、その場旋回・真横移動を実現した。また、コロナ禍を背景に普及した飛沫防止パネルにプロンプター（発表原稿提示装置）を組み合わせた「飛沫防止プロンプター」には、特別賞として「おおたアイデ

ア賞」を進呈した。

・次世代産業創造・産業クラスター形成事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により様々な変更を余儀なくされたものの、オンラインツールも活用した「おおた研究・開発フェア」の開催、展示会への出展、各種セミナーの開催、ヘルスケア企業と連携したオープンイノベーション、個別マッチングなど、大田区企業の次世代産業参入やイノベーション創出を後押しする事業をほぼ予定通り行い、大田区企業に次世代産業参入やイノベーション創出を後押しする効果をもたらすことができた。

① 新製品・新技術開発支援事業

【予算額 76,094,000 円（うち区補助）76,094,000 円】

【決算額 62,244,892 円（うち区補助）62,244,892 円】

（ア）トライアル助成・開発ステップアップ助成・実用化製品化助成

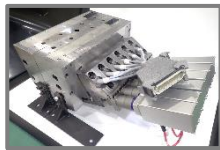
トライアル助成	助成 1 社 （申込件数 2 社）
企業名	事業テーマ
株式会社ハッピーリス	オンライン診療のための嚥下機能測定端末の市場調査
開発ステップアップ助成	助成 7 社 （申込件数 17 社）
企業名	事業テーマ
アロニクス株式会社	誘導加熱（IH）を利用した塗膜剥離用小型加熱ヘッドの開発
有限会社エムティプレシジョン	超高速高精度建築限界測定器の開発
株式会社フルハートジャパン	ドローン用テレメトリー／データロガー装置の開発
株式会社 OUTSENSE	平面広告、XR 広告に変わる「折り立体広告ディスプレイ」
株式会社天の技	自律型海岸漂着ゴミ運搬装置の開発
株式会社 ACTY Power	PEEK カーボン材を用いた次世代型整形外科手術用インプラントの開発
株式会社マテリアルハウス	折り畳み可能な光ダクト
実用化製品化助成	助成 8 社 （申込件数 20 社）
企業名	事業テーマ
株式会社 The MOT Company	CFRP 製自動車ホイールエンブレムのプレス成形
アベテクノシステム株式会社	前腕及び手指用リハビリ装置の製品開発
株式会社ミクロン	歯科用器具の製品化

株式会社桂川精螺製作所	金属探知機に反応しない車椅子の開発
インフイテックエム株式会社	短時間に非破壊で計測可能とする磁気ノイズ法による応力計測装置の製品化
株式会社 TSS	バックバルブ駆動補助装置開発
株式会社東新製作所	5G 対応多機能スマートボールの製品化
株式会社 Piezo Sonic	エレベータ操作が可能な自律移動ロボットによる自動搬送システムの開発



【新製品・新技術コンクール
第 33 回パンフレット】

(イ)新製品・新技術コンクール

新製品・新技術コンクール		表彰 9 件 (申込件数 17 件)
賞 名	受賞企業及び製品・技術名	
最優秀賞	株式会社 Piezo Sonic 搬送用 AMR : Mighty-D3	 【Mighty-D3】
優秀賞	トキ・コーポレーション株式会社 KINETIC LIGHT BLADE	 【KINETIC LIGHT BLADE】
	アクスモールディング株式会社 ロボット式 完全自動化 T ダイ	 【ヒートボルトユニット】
おおた アイデア賞	株式会社アシスト 飛沫防止プロンプター	
おおたネット ワーク賞	株式会社エース 急斜面对応型 半自律走行草刈ロボット	
おおた E C O推進賞	株式会社三輝 詰め替えそのまま専用パック	
おおた 秀逸技能賞	JPN 株式会社 健康ダンパー及び両絞り健康ダンパー	

奨励賞	株式会社大橋製作所 植物工場省人化設備 「移植機 OH-Sn MK II」 株式会社日特 耳掛け型 ワイヤレスヘッドセット
-----	--

② 産学連携研究開発支援事業

【予算額 3,385,000 円（うち区補助）0 円】

【決算額 3,239,087 円（うち区補助）0 円】

区内での産学連携による製品開発等を促進するため、産学連携研究開発支援施設（オオタイノベーション・ラボ）を研究開発に取り組む企業に貸与した。入居者支援についてはコーディネーターによる産学連携サポート支援を実施した。

③ 次世代産業創造・産業クラスター形成

【予算額 59,187,000 円（うち区補助）54,963,000 円】

【決算額 51,010,903 円（うち区補助）48,950,603 円】

（ア）区内の研究開発型企业に関する情報の発信

項目	対象・内容目的等	参加社数・発行部数等
研究開発マッチングシステム「mirai」	研究開発型の区内中小企業を Web サイト上で紹介。大学等研究機関や企業の研究開発者からの共同研究や実験用機材等の製作・加工、試作品製作等のニーズと大田区中小企業とのマッチングを促進する。	156 社
大田区研究開発型企业ガイド	研究開発マッチングシステム登録企業の情報を掲載した冊子を作成。全国の大学、研究機関、企業へ送付及び各種展示会等で配布  【大田区研究開発型企业ガイド】	2,500 部
大学や企業研究機関からの技術相談	Web サイトからの問い合わせ案件数	協会宛 26 件 企業宛 45 件
展示会への出展	研究・技術開発者向けに対する会員企業PR	4 展示会
研究開発マッチングシステム登録会員企業への情報発信	会員企業に対し、区内外のセミナーやイベント、助成金、マッチング事業など、技術革新や事業拡大、新事業参入等に役立つ情報を配信	26 回
ニューズレターの配信	区内外企業、大学、研究機関等の登録者へ協会事業や各種産学連携等に関する情報を発信	26 回

（イ）産学公相談

（a）産学連携コーディネーターによる相談業務の実施

項目	相談件数
産学公交流相談（内、医工連携相談）	722 件 (51 件)

(ウ) オープンイノベーションマッチング

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和3年5月24日～28日 令和3年6月14日～18日	大田区産業振興協会出張展示会 アルフレッサ株式会社～触ろう会～	10人 (10人)
令和3年10月25日	つくば×大田区 医療・ヘルスケア機器 ～ベンチャー企業とものづくり企業の挑戦～ Meetup	141人

(エ) 各種セミナー・ワークショップの開催

(a) 次世代産業創造・産業クラスター形成セミナー/ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和3年6月10日	第1回大田区レアアース泥開発推進勉強会 金属へのレアアース利用拡大の期待 講師: 日鉄総研株式会社 調査研究事業部 産業技術部 特別研究主幹 宮前 収氏	24人 (24人)
令和3年8月25日	そのアイデアを町工場とカタチにしよう! モノづくり相談7つの “トリセツ”セミナー 講師: 有限会社安久工機 常務取締役 経営企画室 田中 宙氏	50人 (38人)
令和3年10月8日	アバターロボット“newme(ニューミー)”の開発 講師: avatarin 株式会社 レベニューマネジメント部 シニアマネージャー 筒 雅博氏	14名 (12名)
令和3年10月15日	樹脂 3D プリンターの進化と求められる技術 講師: 東京工業大学 工学院 機械系 助教 博士(工学) 中川 佑貴 氏	19名 (17名)
令和3年12月2日	エネルギー問題と ESG 経営 講師: 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 後藤 美香 氏	19名 (17名)
令和4年3月4日	「令和3年度大田区医工連携勉強会 ～法規制が参入障壁ってそれホント?～」 講師: 薬事コンサルタント 高橋邦夫氏 岐阜精器工業株式会社 波多野慎平氏	7社 (7社)

(b) 意匠デザイン・ワークショップ

開催日	テーマ及び講師	参加者数 (区内企業)
令和3年8月5日	第1回デザイン思考で始めるものづくりワークショップ 講師: 東京工科大学 コンピューターサイエンス学部 准教授 森本千佳子氏 デザイン学部 教授 本郷信二 氏	21人 (5人)
令和3年9月7日	第2回デザイン思考で始めるものづくりワークショップ 講師: 東京工科大学 コンピューターサイエンス学部 准教授 森本千佳子氏 デザイン学部 教授 本郷信二 氏	15人 (5人)

(オ) おおた研究・開発フェア

実施事業及び開催日	出席者数、商談件数等
第 11 回 おおた研究・開発フェア ONLINE 令和 3 年 10 月 7 日、8 日	出展者数:76 社・団体 登録者数:1,419 人 商談件数:198 件(うち、可能性の高い商談件数 38 件) ※特設ウェブサイトは令和 3 年 12 月 31 日まで公開  【第 11 回おおた研究・開発フェア】
特別講演① 令和 3 年 10 月 22 日	テーマ:国際水素サプライチェーン構築に向けた取組み 講 師:川崎重工業株式会社 水素戦略本部 プロジェクト総括部長 新道 憲二郎氏 会 場:オンライン(アーカイブ配信) 再生回数:676 回
特別講演② 令和 3 年 10 月 23 日	テーマ:スーパーカミオカンデとハイパーカミオカンデの挑戦 講 師:東京大学 宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設 准教授 関谷 洋之氏 会 場:オンライン(アーカイブ配信) 再生回数:319 回

(カ) 新産業分野の展示会への出展

展示会名	会期及び会場	成 果
スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス 2021	令和 3 年 11 月 12 日～14 日 オンライン	相談件数 10 件 可能性高 6 件
nano tech 2022 第 21 回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議	令和4年1月 26 日～1月 28 日 東京ビッグサイト	相談件数 33 件 可能性高 5 件
N-PLUS(環境配慮型素材展)	令和 4 年 2 月 2 日～2 月 4 日 東京ビッグサイト	相談件数 56 件 可能性高 6 件
2022 国際ロボット展	令和 4 年 3 月 9 日～3 月 12 日 東京ビッグサイト	相談件数 33 件 可能性高 5 件

(キ) 知財マッチングの実施

区内大手企業とのマッチング会の実施(継続中)

6 中小企業勤労者に対する勤労者福祉事業

【定款第 4 条 (6) 関係】

〔重点取り組み事項〕

- ・加入紹介キャンペーンや LINE お友達登録による情報発信、シルバー人材センターを通じた営業活動等による戦略的な取り組みを行った。
- ・大田区らしい新サービスとして、区内での消費を促すとともに、区内の魅力を知っていただ

くため、大田のお土産100選認定商品や、いちおしグルメ表彰店舗、HICity 飲食店（コラボ企画）等のクーポン券の発行を行った。

① 加入促進事業

【予算額 13,066,000 円（うち区補助）4,556,000 円】

【決算額 11,004,606 円（うち区補助）4,342,145 円】

（ア）勤労者共済事業の周知

大田区勤労共済会報「ふれあい」を全8頁フルカラーで発行した。

【会報誌「ふれあい」】

発行回数	発行部数
年 10 回	各号 4,600 部



【大田区勤労共済 ホームページ】



【会報誌「ふれあい」】

（イ）会員管理と事業参加・給付状況把握及び加入促進

勤労者共済会の募集リーフレットや入会案内冊子を活用した加入促進員による個別訪問を継続実施中
共済会員入会推移

	平成 31 年 3 月末 (平成 30 年度)	令和 2 年 3 月末 (令和元年度)	令和 3 年 3 月末 (令和 2 年度)	令和 4 年 3 月末 (令和 3 年度)
事業所（社） (前年度対比)	1,581 (-36)	1,529 (-52)	1,451 (-78)	1,380 (-71)
会 員（人） (前年度対比)	4,457 (-82)	4,410 (-47)	4,255 (-155)	4,055 (-200)

② 福利厚生事業

【予算額 （自主）35,762,000 円】

【決算額 （自主）30,345,198 円】

（ア）健康の維持増進に関する事業

スポーツ施設や人間ドック等の利用補助、インフルエンザ予防接種費用助成を行った

人間ドック・ミニドック	利用補助	58 件
インフルエンザ予防接種	〃	263 件
公衆浴場入浴券	利用券の割引あっせん	1,060 セット
区営プール利用券	〃	352 枚
区営スポーツセンター	〃	9 セット

（イ）レクリエーション事業

バスツアーの利用あっ旋・補助の実施

バスツアー補助	8 件
---------	-----

(ウ) 宿泊補助と生涯学習利用に関する補助

ライフサポート倶楽部の宿泊施設の利用に対し合計 6 泊まで 1 泊につき 2,000 円の補助を実施

ライフサポート倶楽部宿泊補助	225 件
----------------	-------

(エ) 契約施設等の利用

他区 9 つの勤労者サービスセンターと共同し、レジャー施設や日帰り温泉施設の利用補助券並びに割引券を配布したほか、会員に好評であった「いちおしグルメ表彰店舗」で利用できる割引券やゴルフ、文化振興協会主催事業の利用補助券を発行した。また、区内商店を中心に会員証呈示で特典が受けられる指定店を増やした。

レジャー施設等	1,088 枚	潮干狩り	6 枚
東京ディズニーリゾート	752 枚	いちおしグルメ補助	285 件
大田のお土産 100 選	808 件	HICity 補助	916 件
釣り船	46 枚	天然温泉平和島	45 枚
ゴルフ場	23 枚	文化振興協会	18 枚

(オ) 各種チケットの割引あっせん

都内・近県のホテルやレストラン等バラエティに富んだ食事券や、映画、観劇、コンサート、美術館等のチケットをあっせんした。スポーツでは、プロ野球、サッカーJリーグ、大相撲のチケットをあっせんした。

映画鑑賞チケット	3,417 枚	大相撲観戦チケット	42 枚
スパ	689 枚	スポーツ観戦チケット	48 枚
東京ドームシティ 得10 チケット	112 枚	美術展チケット	330 枚
プリペイドカード	1,815 枚	東武動物公園法人 アトラクションパスセット	139 枚
食事券(施設利用購入分)	657 枚	おふろの王様	189 枚
鑑賞券(演劇・音楽等)	259 枚		

③ 給付事業

【予算額 (自主) 8,700,000 円】

【決算額 (自主) 6,468,700 円】

(ア) 共済会員への「祝金」「見舞金」「弔慰金」の給付

祝 金	118 件	計 254 件
見 舞 金	37 件	
弔 慰 金	99 件	

(イ) 入学祝・継続会員記念品の贈呈（５年継続、１０年継続毎）

入学祝	179 件	計 626 件
５年継続	271 件	
10 年継続	112 件	
20 年継続	20 件	
30 年継続	44 件	

7 上記事業に関連を有する範囲において区、都、国又はその他の機関等から受託する事業 【定款第４条（７）関係】

〔重点取組み事項〕

・大田区産業プラザの指定管理者として、利用者の安全を最優先するための危機管理体制を強化しつつ、効率的な施設の管理運営に努め、修繕工事等も適切に実施した。また、区内産業振興や地域貢献に寄与するため、MICE推進活動として学会等の催事を積極的に誘致した。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、施設の臨時閉館や各会場の収容人数の制限等、利用者の感染拡大防止に取り組んだ。さらに、令和３年８月から１１月まで大展示ホールが新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用された。

令和４年度からの指定管理のため、２階コワーキングスペース（biz BEACH CoWorking）の引継ぎの準備を行った。

① 産業プラザ展示ホール等の管理運営

【予算額（利用料金）202,959,000 円】

【決算額（利用料金）102,965,293 円】

- ・産業プラザ施設利用状況：＜別表Ａ＞
- ・施設利用収入状況：＜別表Ｂ＞

昨年に引き続き、コロナ禍においても利用者が安心して利用できる施設であるために「感染拡大防止に向けた利用条件等」のガイドラインや「新型コロナウイルス感染症拡大防止確認事項」について、主催者への周知徹底に努めた。また、郵送による施設利用の抽せんや区内中小企業が製作した足踏み式消毒スタンドやアクリルパネルの設置を継続し、新型コロナウイルス感染症対策に努めた。コンベンションホール特定天井改修工事に合わせ、音響設備改修工事を実施し、利便性向上に努めた。

施設の災害対策として、館内職員を対象とした避難訓練及び消火訓練を行い、防災センターをはじめとする館内職員の危機管理能力の向上を図った。災害への備えとして利用者対応用の災害備蓄品を追加購入し充実を図った。

② 施設貸与に伴う付加サービス事業

【予算額（自主）3,992,000 円】

【決算額（自主）2,298,729 円】

施設利用者の利便性を高め、利用率の向上に資するため、イベントサポートガイドPiO倶楽部及びPiO周辺マップの発行、サイン看板等作成サービス、利用者用コピーサービス、催事ごみ処理サービス、トランシーバー貸出、特殊簡易公衆電話、公衆型充電器等のサービスを実施した。

③ 産業プラザ施設維持の管理運営

【予算額 (受託) 57,643,000 円】

【決算額 (受託) 53,832,726 円】

築 26 年が経過しており、老朽化による故障が頻発している。協会では、受託業務の範囲での維持補修工事を実施した。また、大田区発注のコンベンションホール特定天井改修や 1・2 号エレベーター更新等の工事が円滑に実施されるよう関係各所と連携・調整等を行った。

実施した維持補修等の工事

工事名	
・受変電設備プロテクターヒューズ交換	・大展示ホール及び出入口風除室雨漏り修理
・温水ポンプインバータ交換	・屋上冷却塔整備・部品交換
・感雨器及び水質自動管理装置交換	・コージェネ発電機煤煙測定用フランジ新設
等 70 件	

大田区が長期修繕計画等に基づき実施した工事等

工事名	
・コンベンションホール特定天井改修等	・コージェネレーションシステム更新
・1・2 号エレベーター更新	・第 3 次改修計画見直し業務
・屋上広場目隠し壁撤去	

令和 3 年度 産業プラザ施設利用状況 <別表 A>

(1) 展示ホール

施 設 名	前 半 9:00～14:00		後 半 14:00～19:00		利用率	利用者数
	貸出可能数	利 用 数	貸出可能数	利 用 数		
	利 用 率		利 用 率			
大展示ホール	332	234	332	236	70.7%	427,381
	70.4%		71.0%			
小展示ホール	332	136	332	145	42.3%	49,755
	40.9%		43.6%			
			合 計 (1)			477,136

(2) コンベンションホール・会議室他

施 設 名	午 前		午 後		夜 間		利用率	利用者数
	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数	貸出可能数	利用数		
	利 用 率		利 用 率		利 用 率			
コンベンションホール	30	0	30	0	30	0	0%	0
	0%		0%		0%			
A 会議室	332	271	332	273	332	200	74.6%	21, 173
	81. 6%		82. 2%		60. 2%			
B 会議室	332	269	332	273	332	197	74. 1%	22, 345
	81. 0%		82. 2%		59. 3%			
C 会議室	332	194	332	247	332	81	52. 4%	11, 339
	58. 4%		74. 3%		24. 3%			

D会議室	332	231	332	238	332	121	59.2%	18,464
	69.5%		71.6%		36.4%			
E 会議室	332	196	332	219	332	73	48.9%	5,645
	59.0%		65.9%		21.9%			
F 会議室	332	251	332	217	332	106	57.6%	5,068
	75.6%		65.3%		31.9%			
G 会議室	332	207	332	217	332	76	50.2%	5,882
	62.3%		65.3%		22.8%			
特別会議室	332	175	332	185	332	68	42.9%	13,632
	52.7%		55.7%		20.4%			
和 室	332	133	332	161	332	41	33.6%	3,440
	40.0%		48.4%		12.3%			
					合 計 (2)			106,988
					総合計 (1) + (2)			584,124

施設利用収入状況 <別表B>

利用料金収入	84,654,766円
内 訳	・施設利用料：31,809,561円 ・前年度収納分：47,901,005円 ・駐車場利用料：4,944,200円

◆理事会・評議員会

●理事会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第34条第1項に基づき、理事長が招集した理事会は次のとおりであり、各々承認を得た。

第1回 ※	決議のあった日 令和3年5月13日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・令和2年度事業報告について ・令和2年度決算の承認について ・令和3年度第1次補正予算について ・定時評議員会の開催について
第2回 ※	決議のあった日 令和3年6月1日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・代表理事である理事長の選定について
第3回	令和3年7月8日 出席理事 6名 欠席理事 1名 同席監事 2名	・令和3年度第2補正予算について ・評議員選定委員の選任について ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
第4回 ※	決議のあった日 令和3年8月12日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・令和3年度第3次補正予算について

第5回 ※	決議のあった日 令和3年10月8日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・令和3年度第4次補正予算について
第6回	令和3年11月18日 出席理事 7名 欠席理事 0名 同席監事 2名	・基本財産の運用について ・令和3年度第5次補正予算について ・代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
第7回 ※	決議のあった日 令和3年12月21日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・職員の給与等に関する各規程の改正について ①職員の給与等に関する規程 ②就業規則第19条2項の規定により嘱託員として再雇用された職員の服務及び給与等に関する規程
第8回 ※	決議のあった日 令和4年3月23日 同意した理事 7名 同意した監事 2名	・臨時評議員会の開催について
第9回	令和4年3月29日 出席理事 8名 欠席理事 0名 同席監事 2名	・令和3年度第6次補正予算について ・令和4年度事業計画及び収支予算について ・公益財団法人大田区産業振興協会 事務局の組織及び処務に関する規程の改正について ・評議員選定委員の選任について ・業務執行理事である専務理事の選定について ・事務局長の承認について ・臨時評議員会の開催について

※公益財団法人大田区産業振興協会定款第37条に基づき、決議を行った理事会である。

●評議員会

公益財団法人大田区産業振興協会定款第21条に基づき、決議を行った評議員会は次のとおりである。

定時 評議員会	決議のあった日 令和3年5月28日 同意した評議員 7名	・役員（理事、監事）の選任について ・令和2年度事業報告について ・令和2年度決算の承認について
臨時 評議員会	決議のあった日 令和4年3月25日 同意した評議員 7名	・役員（理事、監事）の選任について

●評議員選定委員会

1	令和3年6月4日 出席委員 5名 欠席委員 0名	・評議員の選任
2	令和3年7月14日 出席委員 5名 欠席委員 0名	・評議員の選任

◆コロナ対策

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び職場内環境強化のため、協会職員は令和3年5月13日から9月28日の8回にわたり延べ245名が内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室のPCRモニタリング検査を受診した。

- ・東邦大学医学部地域連携感染制御学講座 舘田一博教授の大田区職員感染症対策講座の視聴を行った。また、各イベント実施の際には感染症予防について、舘田一博教授の助言をいただいた。

◆協会組織強化

- ・内部統制を図るため、公益財団法人大田区産業振興協会すべての業務に対しての業務手順書を作成した。

◆研修

協会内研修

研修名	開催日	対象者	目的	参加人数
新任研修	令和3年 4月1日 令和4年 1月4、6日	新任職員等	協会の基礎知識、会計、契約、文書、服務、規程、セキュリティ等について学ぶ。	7人
新型コロナウイルス感染症対策講座	令和3年 4月5日	協会全職員	新型コロナウイルス感染症に関する知識や動向、今後の対策等について学ぶ。	42人
新任研修	令和3年 ① 4月21日 ② 12月20日	新規職員	大田区職員新任研修の前期、後期聴講受講。	① 3人 ② 3人
公共交通の現状	令和3年 6月21日	協会全職員	コロナ禍における交通輸送事情の現状を学ぶ。	21人
HANEDA×Pi0 活用研修	令和3年 9月16、22日	協会全職員	HANEDA×Pi0 の今後の展開について認識を深め、ベクトルを合わせる。	64人
大田区の産業特性と産業施策について	令和4年 1月17日	令和2年度以降の新任職員	大田区の産業についての基礎知識と区産業経済部との連携、羽田 Pi0 等の新たな事業展開について学ぶ。	19人

その他、職層研修等は民間の開催する研修へ参加。